
いつか蛙日和 4話 朝の食卓

浮羽ゆう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いつか蛙日和4話 朝の食卓

【Nコード】

N2707K

【作者名】

浮羽ゆう

【あらすじ】

ジャスト200文字の小説です。

家族で囲む朝の食卓。

「お母さんお醤油取って」と妹。

「ほらよ」

優しい兄である僕が代わりに差し出す。

「嫌ーっ！ 汚い」

「汚いってなんです。お兄ちゃんに向かって」
母が叱る。

「だってえ、お兄ちゃん舌で渡すのよ」

「仕方ないでしょ蛙なんだから。長く伸びて便利じゃない」

僕は爆発した。

「なんだよみんな。僕だって、喉から手が出るほど元の姿に戻りたいよ」

二人が同時に聞いた。

「え？ この上、喉から手まで生えてくるの？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2707k/>

いつか蛙日和4話 朝の食卓

2011年1月26日11時26分発行